

学報

GAKUHO

2022.12
vol. 60

特集 | 地域実践アクティブラーニング

聖書のことば／クリストファーニュース／聖灯祭・ホームカミングデー

地域連携推進センター通信／就職・進学支援／私たちの国家試験合格ストーリー

研究室の窓辺／新任教員の紹介／聖隷クリストファー生のOFFサイド／専門学校通信／聖隷デイズ

聖隷学園だより／後援会報告



聖隷クリストファー大学



聖隷クリストファー大学介護福祉専門学校

神の御愛・クリスマス

「見よ、おとめが身ごもって男の子を産む。その名はインマヌエルと呼ばれる。」

この名は、「神は我々と共におられる」という意味である。

マタイによる福音書1章 23節

かつて神と共に在った人間は、墮罪によりエデンの東、そのまた東へと追放され、罪が拡大する中歩みを続けていった。

預言者エレミヤは「見よ、わたしの怒りと憤りが、この所で、人間、家畜、野の木、地の実りに注がれる。

それは燃え上がり、消えることはない。エレミヤ書7章20節」という全被造物に向けられた神の裁きを告げ知らせた。

それでも、「わたしはこの民をわたしのために造った。イザヤ43章21節」と宣べる神は、人間を深く憐れみ「わたしは彼らの悪のゆえに下そうと考えている災いを思い直す。エレミヤ26章3節他」のであった。

預言者イザヤは、「ひとりのみどりごがわれわれのために生れた、ひとりの男の子がわれわれに与えられた。まつりごとはその肩にあり、その名は、「霊妙なる議士、大能の神、とこしえの父、平和の君」ととなえられる。イザヤ書9章6節口語訳」という驚くべき神の救いの啓示を、励声一番、宣言するのであった。

福音書記者は、こぞって「ひとりのみどりご」が、御子イエス・キリストであることを証言し、「マリアは男の子を産む。その子をイエスと名付けなさい。この子は自分の民を罪から救うからである。マタイ1章21節」と、神の救いの到来を告げ知らせた。

預言者と福音書記者は、「イエスはインマヌエル、神の子・救い主である」ことを共に証言し、愛弟子ペテロは、「ほかのだれによっても、救いは得られません。わたしたちが救われるべき名は、天下にこの名のほか、人間には与えられていないのです。使徒4章12節」と、神の恵みを、大声疾呼、宣教し続けている。

クリスマス。尽きることのない神の御愛^{おんあい}に思いを馳せる。

ながい えいじ
聖隷学園宗教主任 永井 英司





[看護学部] 静岡県参事による新型コロナウイルス講義

9月22日、学内にて静岡県健康福祉部の後藤幹生参事が看護学部4年生を対象に新型コロナウイルスに関する講義を実施しました。本講義は未来の医療を担う県内の看護学生に感染症対応について理解してもらうことを目的に実施され、静岡県内で初めて本学で開

催されました。講義では、静岡県内の過去2年間の感染状況や変異株の変遷などについて解説が行われたほか、県内の医療のひっ迫状況、今後の見通しなどについても説明がありました。来年から病院などで働くことになる看護学部の学生たちは、わが事

であるように真剣に耳を傾けていました。



[社会福祉学部] 福祉の日講演会

10月19日、社会福祉学部1年次生と介護福祉専門学校1年次生を対象に、福祉の日講演会を開催しました。静岡県では、1月1日から数えて294(ふくし)日目にあたる10月20日を「県民福祉の日」として制定しており、この日に合わせて社会福祉学部では毎年講演会を開催しています。今回は、浜松市発達相談支援セ

ンター ルピロの所長、内山敏氏をお招きして、「発達障害とライフステージ生まれてから社会的自立まで」というテーマで講演をしていただきました。講演では、発達障がい者が生きていく中で発生するさまざまな課題、発達障がい者への支援について説明があり、障がいがあっても社会のユニバーサル化によって

「社会的自立」のレベルを上げ、「自主的に選択できる」ようエンパワメントすること、そのために支援者は専門性を磨くことが重要であることなどを学びました。



[リハビリテーション学部] 産学連携事業

リハビリテーション学部では、株式会社杏林堂薬局と2020年度より産学連携事業を行っています。今年度は、杏林堂薬局新所原駅南店と湖西市が行っている「湖西市Bass事業実証実験」のプロジェクトに、作業療法学科と言語聴覚学科の学生が参加しました。言語聴覚学科は、9月9日に杏林

堂薬局新所原駅南店にて行われたイベントに参加し、高次脳、口腔運動、発話に関するブースを設置し、参加者に予防法などを指導しました。作業療法学科は、9月28日に同店で行われたイベントに参加し、地域在住高齢者の「生活、生きがい」に焦点を当てた3つの検査・アンケートを実施し、検査結

果を踏まえ日常生活のQOLを維持・向上させるためのアドバイスを参加者に提案しました。



地域実践アクティブラーニングは、地域の課題について保健医療福祉及び教育・保育を学ぶ立場から、それぞれの知識や経験を活かして解決する力を養うことを目的とした、本学独自の授業科目です。

本科目では、看護・社会福祉・リハビリテーション学部の学生と教員が一緒になって、地域で活動する専門職や多くの方々との交流体験を通して、課題解決に努めます。その中で、地域共生社会の意義を学び、連携に必要な専門職としてのコミュニケーション能力や支援技術向上をめざします。

今回は、2021年度～2022年度にかけて実施した地域実践アクティブラーニングⅠ・Ⅱ・Ⅲの活動の一部をご紹介します。

SGE♡プロジェクト（婦人科検診啓発プロジェクト）

2019年度にスタートしたSGE♡プロジェクトは、これまでに子宮頸がん啓発活動を中心に多くの活動を実施してきました。2021～2022年度は、聖隷クリストファー高校への出張授業や、浜松市との連携事業による協働センターでの講座実施、人間ドック食の考案などを行いました。SGE♡プロジェクトは今後も子宮頸がん啓発活動を通じて、多くの人に正しい知識を普及するとともに、検診やワクチン接種を促進するための活動をしていきます。多くの人たちの力をかりてここまで発展してきたプロジェクトなので、今後はより社会にとって意義のある活動にしていきたいと思います。



実践SDGs!

地球的な視点に立ち、エコをはじめとする持続可能な開発目標に貢献できる取り組みを考え、実践しました。本グループは4つのチームに分かれ、以下の活動を行いました。

- ①使用可能な学用品を集め、発展途上国の子ども達へ寄付する。
- ②近隣地域で貧困に苦しむ人を支援するため、食品を集めて寄付するフードバンク活動。
- ③豊かな海を守るため、海岸でのごみ拾い活動。
- ④ジェンダー平等の実現のため、LGBTQについて調べ、学内にポスター掲示などを行う。

地域の方々と関わりながらこれらの活動を行う中で、地球を取り巻く課題とその背景にある問題について考え、微力ながらもSDGsが目指す社会の実現に貢献できたと感じます。



アダプテッド・スポーツ (地域の障がいをもつ方のスポーツ活動)

アダプテッド・スポーツは、障がいの有無や性別、年齢を超えて、すべての人がスポーツ文化を共有しようという考えから生まれました。本グループでは、アダプテッド・スポーツの意義を理解するため、地域の障がいをもつ方々と一緒に車いすバスケットボールやボッチャ、シッティングバレー、ゴールボールなどを体験しました。スポーツを通じて感じたことは、障がいをもつ方々への理解を深めるための大切なヒントになりました。

また、聖隷クリストファー小学校の児童を大学に招き、パラリンピックに関するクイズやボッチャ体験会を行い、アダプテッド・スポーツへの関心を高めることができました。



「NPO法人むく」での活動

NPO法人むくは、浜松市内で児童発達支援事業や放課後等デイサービスを行う多機能型事業所です。本活動では、NPO法人むくで行われている日常生活訓練、感覚運動遊びなどに参加し、児童福祉の実践現場を体験しました。これまで授業で多くのことを学修し、知識を身に付けてきましたが、事故のおきない環境を整備することや、子どもの気持ちを受け止めることの大切さ、一人一人の子どものこだわりを個性として受け取ることの必要性など、実践現場に出てみないとわからない多くの気づきが得られました。また、多職種が連携して、一人の子どもを様々な視点から見ることの大切さを理解することができました。



萩原元気はつらつプロジェクト

ふれあい交流センター萩原にて実施されている「元気はつらつ教室」に参加し、一緒にレクリエーションを行い、高齢の参加者や施設職員を対象とした聞き取り調査を行いました。レクリエーションの様子や聞き取り調査の結果を踏まえ、必要な項目を検討し、体力測定（握力測定、TUG、オーラルフレイル）を実施しました。元気はつらつ教室に参加している高齢者は、身体機能が比較的高い傾向にあり、健康増進への意欲的な姿勢がみられました。虚弱で家に閉じこもりがちな高齢者が社会的孤立感を解消し、自立生活の助長を図ることができる場を設けることの重要性が理解できました。



報告会

9月30日、1年間の地域実践アクティブラーニングの総まとめとして、学内で報告会が行われました。発表内容から、学生がこれまでの活動を通して多くの貴重な経験が得られたことが見て取れました。学生の感想から実習や就職後に活かそうといった声が多く聞かれ、本科目を担当した教員からは自分が経験したことのないような貴重な経験を学生がしているという意見がありました。



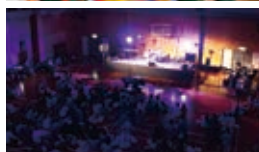
聖灯祭・ホームカミングデー

2022.11.5

第21回
聖灯祭
2022.11.05
17:00~19:00

聖灯祭 テーマ「～Restart～」

このテーマには、3年ぶりに行われる対面での聖灯祭を最高なものにしたい、今までよりも活気のある聖灯祭にしたい、この再出発を成功させたいという思いが込められています。今年の聖灯祭では、ステージイベントで仮装大会を行ったり、各ブースなどを回り、スタンプを集めることで、後夜祭での大規模な抽選会に参加できたりと、学生が主体的にかかわることができるイベントを多数企画しました。多くの学生、一般の方が参加し、大盛況のうちに幕を閉じました。



聖灯祭実行委員長

かじた ひろき リハビリテーション学部
梶田 拓希さん 理学療法学科 2年次生

昨年までは新型コロナウイルス感染拡大を受け、オンライン配信がメインコンテンツでしたが、本年は3年ぶりの対面実施となりました。対面実施による聖灯祭を経験したことのある実行委員がおらず、探り探りの状態から企画がスタートしました。大勢のメンバーを取りまとめるのはとても大変でしたが、今は無事にこのビッグイベントを終えられたこと、そして参加者の皆さんの笑顔が見られたことがとても嬉しく、頑張ってきてよかったと心から思いました。

HOME
COMING
DAY
2022
2022.11.05
17:00~19:00

ホームカミングデー

ホームカミングデーは、短期大学、ヘルパー学園、専門学校、大学学部・大学院すべての卒業生・修了生の皆様が母校に戻り、同窓生や先輩・後輩と旧交を温め、教職員と交流していただきたい、また保健医療福祉及び教育の最新情報や人材情報の交換拠点として母校を活用していただきたいと考え開催しています。当日はウェルカムセレモニーを行ったのち、専門領域ごとに分かれて勉強会・交流会を行いました。また今年は聖隷学園の看護教育70周年、大学学部教育30周年の節目の年となり、記念展示を行いました。

ホームカミングデー2022 実行委員長

かみじょう よし あき 聖隷学園浜松衛生短期大学
上條 義昭さん 第一衛生看護学科 1982年度卒業

ホームカミングデー2022は滞りなく進み幕を降ろすことができました、様々な形でご参加をいただきありがとうございます。

コロナ禍という状況から、今回も縮小開催を余儀なくされましたが、聖隷の看護教育70周年に相応しい内容で開催ができました。参加者の皆さんは「隣人を愛する」という聖隷の教育の原点に改めて触れることができ、コロナ禍をコロナ成果につなげることができたと思います。さらに、社会福祉、リハビリテーションの各分野でも成果につなげることができました。

未だ、新型コロナウイルスとの闘いの出口は見えません。多方面の関係者が知恵を絞って目に見えぬ敵に立ち向かい続けた先で、多くの皆さんとお会いできることが叶うと信じています。その日は決して遠くないと・・・



領域ごとの勉強会・交流会



看護系(記念展示)



社会福祉系



リハビリテーション系

地域連携推進センター通信

浜松市との連携事業 ～大学生による講座～

聖隷クリストファー大学は、浜松市が企画・推進する事業「浜松市と大学との連携事業～大学生による講座」に参画しています。本事業は、市民と大学生が生涯学習を通じて自分の成長や能力の向上を図り、その学びの成果を地域づくりにつなげていくことを目的に行われています。本学は2017年度より当連携事業に参画しており、今年度は下記の5講座11回を実施中です。

講座名	対象	担当学科	会場
認知症予防 ～ゲームやクイズで楽しく認知症予防をしてみませんか～	高齢者	看護学科	積志協働センター
自分のカラダとの上手な付き合い方	中高年女性	助産学専攻科	三方原協働センター
すこやかな生活を送るための貯筋をしませんか	高齢者	理学療法学科	西部協働センター、南部協働センター、 富塚協働センター
自分の身体機能や運動能力を調べてみよう！ ～体の仕組みについて	小学生 (4年～6年生)	理学療法学科	三ヶ日協働センター、二俣協働センター
認知症予防“海馬を鍛えよう!!”	どなたでも	作業療法学科	熊ふれあいセンター、東部協働センター、 南陽協働センター、竜川ふれあいセンター

すこやかな生活を送るための貯筋をしませんか

浜松市との連携事業の活動として、11月12日、西部協働センターにおいて、『すこやかな生活を送るための貯筋をしませんか』を開催しました。講師を担当した学生は、リハビリテーション学部理学療法学科1年生8名、参加者は高齢者9名でした。学生は、初めての経験ということもあり、早めに会場入りして準備、練習を行い、緊張した面持ちで参加者をお迎えしました。講座は硬い雰囲気でしたが、参加者の方が体を動かすようになると、緊張も和らいできました。また、ストレッチや筋力トレーニングの実技練習では、学生が参加者一人一人に笑顔で声をかけ、安全に配慮しつつ、滞りなく講座を終えることができました。終了後、参加者から学生に、『楽しかった』、『また参加したい』との声をかけてもらっていました。学生にとって、これからの学びにつながるよい経験になりました。



認知症予防

～ゲームやクイズで楽しく認知症予防をしてみませんか～

看護学部2年生の4名が講師となり、地域の高齢者の方々に対象に認知症予防の講座を開催しました。認知症の病態や症状および認知症予防の必要性の説明を行った後、参加者を3つのグループに分け、都道府県ゲームとコグニサイズを行いました。コグニサイズとは、身体と脳の運動を同時に行うことにより、高い認知症予防の効果が得られる活動です。各グループの中に1人の学生がサポート役として入り、参加者同士の活発なコミュニケーションを通して、楽しみながら認知症予防の大切さを理解していただきました。学生も積極的に高齢者の方々と関わることができ、よい交流の機会になったと思います。最後に、学生によるハンドベル演奏を行いました。高齢者の方々からアンコールのご希望もいただき、盛況のうちに講座を終えることができました。



就職・進学支援

学生が専門職としての将来像を明確にできるよう働きかけ、卒業後のキャリアデザインを描くことのほか、希望する就職が実現できるよう支援しています。各学部学科・学校では、在学生在が卒業生や保健医療福祉施設の採用担当者などと交流できるプログラムを実施しています。就職活動の流れや支援プログラムなどの詳細については、同封の「就職ガイドブック（抜刷）」をご覧ください。



病院・施設説明会

学部1・2・3年次、専門学校1年次

筆記試験対策講座 **看 社 リ** 公務員試験対策講座 **看 社 リ** 論作文試験対策講座 **看 社 リ**
 履歴書の書き方、面接の受け方講座 **専** 社会人になるための基礎講座 **専** 社会人マナー講座 **専**
 2年次生による就職活動報告会 **専** 社会福祉学部学園内推薦編入学説明会 **専**
 スーツ着こなし講座 **専** メイクアップ講座 **専**

学部3年次、専門学校2年次

4年次生による就職活動報告会 **看 社 リ**

4年次生の先輩から体験談を聞き、これから始まる就職・進学活動に備えます。

就職マナー・面接対策講座 **看 リ**

病院・施設説明会やインターンシップ、採用試験時のマナーや面接などについて学びます。

卒業生による福祉の仕事報告会 **社**

専門職者としての資質や仕事内容などについて話を聞きます。就職先や就職後をイメージする機会としています。



4年次生による就職活動報告会



卒業生と在在学生との懇談会

スーツ着こなし講座 **看 社 リ** 就職先研究 **社 リ**
 SPI対策模擬テスト **社** 大規模法人就職説明会 **社**
 就職内定後の心構え、社会人としての心構え **専**

卒業生と在在学生との懇談会 **看 社 専**

看護学部、社会福祉学部こども教育福祉学科を対象としています。専門職者として勤務している卒業生から、専門職者としての資質や仕事内容などについて話を聞きます。就職先や就職後をイメージする機会としています。

学部3・4年次、専門学校2年次

病院・施設説明会 **看 社 リ 専** 教員採用試験模擬試験 **看 社** 助産学専攻科学内推薦説明会 **看**
 採用担当の方から話をうかがい、就職先を選択する機会とします。

私たちの 国家試験合格ストーリー

国家試験に合格するためにどのような勉強をしたのか、先輩たちに語っていただきました。

国家試験は自分との戦いですが、家族の支えがあってこそ実力を発揮できます

看護学部

はら あゆな

原 歩菜さん

[就職先] 聖隷浜松病院

[取得資格] 看護師

看護学科 2021年度卒業

私は国家試験に向けて、毎日コツコツと勉強することを心掛けました。移動中や寝る前のスキマ時間も、問題集や携帯のアプリを使って問題を解きました。

また模試では本番を想定して時間配分を考えながら試験を行い、終了後は解き直しを丁寧に行いました。

私生活では、両親がご飯を作ってくれたり、愚痴を聞いてくれるなど日々の生活を支え、見守ってくることがとてもうれしかったです。国家試験は自分との戦いですが、家族の支えがあってこそ実力を発揮できるので、お子さんの日々の生活をできる限り支えることが最善のサポートになると思います。



先生のアドバイスを取り入れながら自分に合った勉強法を探してみてください

社会福祉学部

ふじた みずほ

藤田 瑞萌さん

[就職先] 天竜厚生会

登呂の家デイサービスセンター

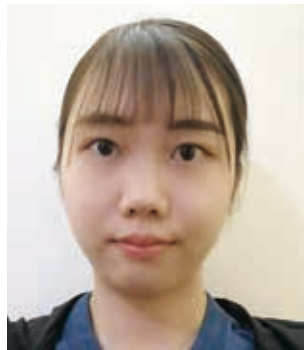
[取得資格] 社会福祉士

介護福祉士

介護福祉学科 2021年度卒業

私は模試で出来なかった点を理解できるまで見直しをしました。解説を読んで分かりにくい箇所は、友達に聞いたり、内容をイラスト化したりしました。理解した内容は、何も見ずに一度口に出して説明することを行い、インプット・アウトプットを繰り返しました。また、友達と共に勉強することもありましたが、一人で大学の図書館や近隣のカフェなど集中して勉強ができる環境で主に取り組んでいました。

在学中は一人暮らしでしたが、両親が学業御守をくれた時、離れていても応援してくれていることを感じて嬉しかったです。ぜひ、お子さんには前向きな声かけをしてあげてください。



勉強と休養のメリハリをつけられたことが最後まで頑張れた要因です

リハビリテーション学部

はせがわ みく

長谷川 美空さん

[就職先] 横浜市総合

リハビリテーション

センター

[取得資格] 言語聴覚士

言語聴覚学科 2021年度卒業

国家試験を受験するにあたり、私にとって環境調整は重要でした。勉強時間の大半を過ごしていた大学の図書館では、同志が常に視界に入る席を選ぶことで、刺激をもらいながらモチベーションを維持していました。

自宅は息抜きの場合と位置付けており、家族が「国家試験」Wordを出さずにいつも通り接してくれたおかげで、心身ともに休養することができました。勉強と休養のメリハリをつけられたことで、挫折せずに最後まで頑張れたと思います。プレッシャーを感じさせない「日常」を提供してくれた家族には感謝していますし、受験生にとっては良環境であると感じます。



研究室の窓辺

聖隷クリストファー大学大学院紹介

知識や技術を得るだけではなく、自分自身と向き合うことが必要であることに気づきました

社会福祉法人 聖隷福祉事業団 浜松市リハビリテーション病院
理学療法士

かめやま ゆうと

亀山 裕斗さん

聖隷クリストファー大学大学院

リハビリテーション科学研究科博士前期課程在学中



私が大学院進学を決めたのは大学4年次生の時です。理学療法士は以前から飽和すると言われており、臨床に出る前から自分の将来に不安を抱いていました。医療従事者は生涯学習と言われていますが、ただひたすら学習していても、他者との差別化を図ることは難しいと考えていました。そこで、大学院に進学し本格的に研究を行うことで、研究力を身につけるだけでなく、社会性や教育力なども身につけられ自分の強みを作ることができると考え、大学院に進学しました。

私は回復期のリハビリテーション病院で業務をしており、整形疾患、脳血管疾患、循環器疾患の患者を幅広く担当しています。大学院へは卒後2年目で進学しましたが、1年目の時に担当した脳卒中患者の機能予後に疑問を強く抱き、修士研究のテーマを脳卒中患者のサルコペニアとしました。卒後1年間は大学院に進学していませんでしたが、研究室の勉強会に参加したり、こまめに担当教員と打ち合わせをした

りすることができ、入学前から研究の準備を進めていました。そのため、卒後から学習のペースを落とすことなく継続して学習できていました。大学院に進学するにあたり、仕事と学業の両立に不安もありましたが、職場長に大学院進学の旨を相談し、快く受け入れていただき、職場でも研究活動を行えています。また、入学後から学習ペースを上げるのではなく、学部から卒後まで一貫したペースを保って学習を続けられたことも、入学後に仕事と学業を両立することに対して大変さを感じていない要因だと思います。

現在、研究活動を行うにあたり、指導教員の先生や同じ研究室の院生をはじめ、研究に協力していただいている職場のスタッフや患者さんなど、多くの方の協力があり研究活動を行うことができています。今後、研究活動を通して協力していただいている方々に少しでも還元できるよう精進していきたいと思います。

新任教員の紹介

①出身校 ②前任校・前勤務先 ③専門分野 ④メッセージ

看護学部 看護学科
基礎看護学

なつめ まり
夏目 麻理 助手



①聖隷クリストファー大学②聖隷浜松病院③基礎看護学④臨床経験を経て看護技術の大切さを身に染みて感じています。本学の卒業生であり、看護をより学びたいと思い戻ってこられたことを嬉しく思います。看護体験を振り返り、看護の重要性を学生さんに伝え、また一緒に学んでいきたいと思っています。

リハビリテーション学部
言語聴覚学科

さとう あやか
佐藤 綾華 助教



①国際医療福祉大学大学院②国際医療福祉大学クリニック言語聴覚センター③聴覚障害学、言語発達障害学④主に、聴覚障害や言語発達障害を担当させていただきます。言語聴覚士のやりがいや楽しさなどを伝えていけたらと思います。どうぞよろしくお願いいたします。

介護福祉専門学校

にしふじ ひろゆき
西藤 宏之 教員



①聖隷介護福祉専門学校②社会福祉法人七恵会 浜松中央長上苑③介護福祉④母校の教育に携わることができ、やりがいと喜びを感じています。介護教員歴20年以上の経験を活かして、学生の目標達成のために尽力したいと考えています。よろしくお願いいたします。



サークル活動、アルバイト、休日…。

クリストファー生たちはどのようなオフタイムを送っているのでしょうか？

OFF図鑑

サークル編

先輩後輩問わず多くの人と関われ
大学生活が充実しています。



こやま かずき

小山 和輝さん 看護学部2年次生

どんなサークルに入っていますか？

ゆりかもめというバレーボールサークルに入っています。経験者もいますが、未経験者も多く参加しています。1点が入るごとに盛り上がり、いいスパイクが決まればチームメンバーで祝福するといったように、参加している学生同士の仲もよく、楽しく、よい雰囲気です。

サークルに入って良かったと思うことは何ですか？

私がサークルに参加して良かった

と感じていることは、同学年以外の人や、他学部の人と仲良くなることができたということです。先輩後輩問わず多くの人との関わりが増え、大学生活が充実したものになっています。



おおishi しゅうた

大石 翔太さん 社会福祉学科2年次生

休日はどのように過ごしていますか？

野球部に所属しているためリーグ戦に向けて練習や試合などを行っていることが多いです。新体制となり練習に厳しさが出てきているので、春のリーグ戦は期待していただきたいです！野球の練習がない時はYouTubeをよく見えています。Liella!というグループの曲がすごく好きです！ぜひ聴いてみてください！

最近行ったところは？

夏休みにバンテリンドームナゴヤに行きました。巨人ファンなので巨人戦

を選びました。背番号20の戸郷選手が好きです！コロナウイルス感染予防のため声出しでの応援やトランペットがなく少し寂しかったですが、球場で観る野球はやはり楽しかったです。来年こそは色々な球場を回って野球観戦をしたいと思います！



休日編

春リーグ戦に向けて
厳しい練習をしています。



アルバイト編

様々な年齢のお客様に合わせて、
対応できるようになりました。



なかむら みなみ

中村 美南さん 理学療法学科4年次生

どんなアルバイトをしていますか？

袋井市のスーパーでアルバイトをしています。豆腐や納豆、漬物の品出しをしたり、商品の見切りを行ったりしています。最近、商品のPOPを作成するお仕事を任されています。どのように並べたらお客様が商品を取りやすいか考えながら品出しすることを意識しています。

アルバイトで学んだことは？

コミュニケーション能力を身につけることができました。スーパーには

幅広い年齢層のお客様がいらっしゃいます。年齢に合わせたお話の仕方や対応をすることができるようになりました。



専門学校通信



就活体験記

自分1人ではなく、多くの方の力をお借りてして
取り組むことができました

かねふさ あやの
2年次生 兼房 彩乃さん 内定先／社会福祉法人 小羊学園

本格的に就職活動を始めたのは、2年次の7月中旬からです。1年次の3月に行われた就職説明会以降、先生や家族の意見も聞きながらよく考え、就職先を決めました。就職説明会では複数の法人のお話を聞くことで、それぞれの施設の雰囲気を知ることができました。また、施設見学では、現場で働く職員の方のお話を聞くことで、施設の理解が深まりました。法人を決める際に重視した点は、施設の雰囲気と利用者様が過ごされる生活環境です。履歴書は、キャリア支援センターの方からアドバイスをいただき作成しました。就職試験前には、家族から「おちついて答えれば大丈夫だよ。」とメッセージをもらい、リラックスして面接に臨むことができました。



専門学校トピックス

介護実習Ⅰ実習報告会

10月28日、1年次生による実習報告会が行われました。初めての实習で経験したことを振り返り報告・共有することや、学生同士の質疑応答や実習指導者・職員の方々からご指導をいただくことを通して、理解を深めることができました。報告会の運営も、実行委員長・実行副委員長を中心に学生で行い、準備の過程も含め貴重な学びの機会となりました。



生活支援技術Ⅱ

利用者様主体の生活が継続できるよう、尊厳を保持し根拠に基づいた介護実践を行うための知識・技術を習得する科目となります。「入浴・清潔保持、排泄、食事」などの日常生活援助が行えるよう基本的な知識を学びます。そして、生活場面をイメージして基本的な支援方法を学生同士で演習(練習)を繰り返します。演習(練習)で学んだことを自身で振り返りながら、実習では利用者様に安全に生活支援ができるよう心がけています。



●2022年度卒業予定者の内定状況

速報

2022年度に卒業する学生のうち、就職希望者は20名で、全員の内定が決まり、内定率は100%です。また、3名の学生が学園内推薦編入学制度により、聖隷クリストファー大学社会福祉学部への3年次編入学が決定しています。

卒業 予定者数 (名)	大学 進学者数 (名)	就職 希望者数 (名)	就職 内定者数 (名)	就職 内定率 (%)
23	3	20	20	100

(2022年11月24日時点)

●就職・進学支援プログラムについて

専門学校は入学から就職活動開始までの期間が短いことから、1年次生の5月から就職などに関する支援プログラムを実施しています。

1年次生

2022年5月	社会人になるための基礎講座 社会人マナー講座
6月	スーツ着こなし講座 メイクアップ講座(希望者)※動画視聴
10月	2年次生による就職活動報告会
12月	卒業生と在學生との懇談会 履歴書の書き方、面接の受け方講座 聖隷クリストファー大学社会福祉学部への編入学説明会
2023年3月	福祉系の法人・施設などを招いての説明会

2年次生

内定を頂いた2年次生を対象とし、2月に「就職内定後の心構え、社会人としての心構え」のプログラムを実施しています。



お知らせ

大学・専門学校に届く求人票の情報は、キャリア支援センターのホームページのほか、登録者に対して配信される「求人情報配信システム」によりお知らせしています。保護者の皆さまもご登録いただくことができますので、情報提供を希望される方は、大学ホームページ「就職・キャリア」(<https://www.seirei.ac.jp/career/>)の「求人情報配信システムへ登録」からご登録ください。

お問い合わせ先

聖隷クリストファー大学介護福祉専門学校 キャリア支援センター
TEL:053-436-7233 FAX:053-437-6782
E-mail:career@seirei.ac.jp

聖隷デイズ 介護福祉専門学校のとある一日を紹介

1年次生 はかま た りき
袴田 力さん

将来は高齢者施設に就職をして習ったことを十分に活かしていきたい。

最初は学校生活と友人関係に不安や緊張がありました。ですが、1つのクラスの人数が少ないという良さが、すぐにクラスになじむことができ、今では友人と毎日楽しく学校生活を送っています。1年次生と2年次生合わせて2クラスのため、先輩方とコミュニケーションを図りやすく、学校生活での心配事や悩み事の解決に繋がります。

学業では国家試験に向けて覚えることがたくさんあり大変なので授業で気になる点や不安な点を友人と話して楽しく覚えています。

今は介護福祉士の資格を取るために勉強を頑張っています。将来は高齢者施設に就職をして利用者様が安心して生活を送るために、習ったことを十分に活かしていきたいです。



🕒 8:30 朝



8時半に礼拝が行われます。学生が司会進行をすることでより親睦が深まります。

🕒 12:00 昼食



お弁当を持参する人や食堂を利用する人、近くのコンビニに買いに行く人もいます。

🕒 13:25 午後



お昼を食べて眠くなる頃ですが、皆集中して勉学に励んでいます。



聖 隷 学 園

聖隷クリスチャー大学附属 クリスチャーこども園

◆「がんばって」の贈りものと「ありがとう」のお返しと



7月、高校野球の組み合わせが決まり新聞などで報道され始めた頃、子ども達と野球の話をしてみました。すると、「花の日で行った時、挨拶してくれたよ」「がんばって!って言いたい」「飲み物をプレゼントしたい」と、次々に応援したい気持ちを言葉にする子ども達。そこで、職員や保護者の方に野球部応援募金を呼びかけ、ラベルレスのスポーツドリンクを購入。子ども達の応援メッセージをボトルに巻いて、野球部にお届けしました。

初戦の日、こども園はサマーフェスタでした。お祭りの途中で、試合の経過をアナウンスしながら皆で祈り、勝利を共に喜ぶ事ができました。2回戦、3回戦と勝ち進むにしたがって、子ども達の応援熱は益々上がり、「次はどうやって応援する?」と考えます。昨年、翠富士に勝ち越しおめでとう!の横断幕を作り、喜ばれた事を思い出しました。真っ白な布を前に、「何て書く?」「てっぺん目指してガンバレは?」「長いね」「かつ飛ばせクリ高は?」などいろいろな意見が飛び交います。子ども達は、この体験を通して、応援する事、励ますことの高揚感を味わいました。

さて、すべての戦いが終わった日曜日、思いもよらない事が起こりました。なんと、誰もいない園庭で草取りや掃除をしている野球部の3年生の姿があったのです。

高校野球を通して、こども園の子ども達も野球部の方も“励まし合う”ことは、お互いの力になる事に気づいたのではないのでしょうか。これからも豊かな交流の時が持てますように。

励まし合いなさい。・・・そうすれば愛と平和の神があなたを
たと共にいてくださいます。コリントの信徒への手紙二13:11



聖隷クリスチャー小学校

◆School Trip to Hakuba

小学6年生が、長野県北安曇郡白馬村へ研修旅行に出掛けました。白馬の雄大な自然の中、All Englishでアクティビティを体験し、「コミュニケーション力」を鍛え「他者と協力すること」の大切さを学びました。子どもたちの一番印象に残ったアクティビティは、ラフティングでした。



協力しないとボートは進まないことを体験を通して学び、一人ではできない大きなこともみんなで力を合わせればできるということを楽しみながら学びました。



◆ボルダリングウォール完成

小学校4階のコミュニティホールにボルダリングウォールが設置されました。

絵は、小学校教諭ヒル貴司先生の力作です。子どもたちの大好きな小動物や迫力満点のヴィヴィッドな絵に引き寄せられるかのように大勢の子どもたちが毎日集まり遊びながら体力づくりに励んでいます。



聖隷クリストファー中学校 グローバルスクールコース

◆学校生活発表会

中学グローバルスクールコース1年生の生徒たちが、聖隷クリストファー小学校5・6年生を対象に「中学グローバルスクールコース学校生活発表会」を行いました。これは、来年度以降中学グローバルスクールコースに入学してくる児童たちに中学校の学校生活を理解してもらうこと、また、安心して入学してもらうことの2点に重点をおいて企画したもので、中学グローバルスクールコースの生徒たちが2グループに分かれて、10月後半に小学校の教室に出向いて発表をしました。

2グループでそれぞれプレゼンテーションを作ったため、内容は似ていても聞き手の方は楽しんで発表を聞くことができたと思います。発表後は、小学生からいろいろな質問が出ましたが、中学生らしい対応でこやかに答えていました。

今年度からスタートしたグローバルスクールコースの1年生は、生活をしていく中でグローバルらしさを見付けつつ、自分達が第1期生となるという自覚を持って学習や生活に励んでいます。そのような思いが小学生にも伝わったのではないかと感じています。



聖隷クリストファー中・高等学校 中高一貫コース

◆中・高生の「大学体験」

「高校卒業後は大学進学」そう考えている中高生は多い。けれど、大学ってどんなところ？大学で何を勉強するの？という問いに、はっきり答えられる生徒は多くありません。そんな生徒たちに動機付けをするのが、説明会や大学見学です。中高一貫コースにおいては、繰り返しそのような機会を設けていますが、中でも実際の大学に赴き、キャンパスを歩き、大学の先生・学生方に接することは、深い印象となります。

本校では毎年高1の10月に、英数科は県内の国公立大を(今年は県立大、文化芸大、浜松医大)、普通科は愛知県の私立大を(今年は合計6大学に290名が分散して)訪問します。先日訪問した大学では、本校出身の大学生が、後輩たちを歓迎してくれたそうです。高2になる春には、英数科が首都圏大学見学会を行います。生徒は自分にとっての「夢の大学」の見学計画を立て、東京の街をそれぞれで移動します。

中学3年生は今年も例年どおり、聖隷クリストファー大学を訪問しました。全体的な説明を受けた後に、看護学部、社会福祉学科、こども教育福祉学科、作業療法学科にて先生方に特別講義をしていただきました。35分間の濃厚な内容の講義を受講し、生徒達も充実した時間を過ごしました。将来、医療や福祉分野で働くことを夢見る生徒はもちろん、その他の生徒達も大学生活や将来のことを考える機会となりました。まさに「初めての大学体験」となりました。



後援会報告

2022年度教育懇談会を開催しました

教育懇談会は、父母等保証人の皆様と大学・専門学校とのコミュニケーションを深める場として、後援会の協力のもと開催されています。父母等保証人の皆様にキャンパスにお越しいただき、教育環境や教育の現状、目的、課題などを知ってもらうとともに、学業、学生生活、就職、健

康面などの疑問・不安を解消していただく機会としています。2022年度は下記の日程で開催し、大変多くの方々にご参加いただきました。心より御礼申し上げます。次年度の教育懇談会の日程は、決定次第ホームページにてお知らせします。今年度ご参加できなかった皆様も是非ご参加いただければ幸いです。



個別相談(看護学部)



学科別説明会(社会福祉学部)



学科別説明会(リハビリテーション学部)



全体会(介護福祉専門学校)

■今年度の開催状況

開催日	学部など	参加者数	
6月 4日(土)	介護福祉専門学校	7名	
7月 2日(土)	社会福祉学部	社会福祉学科	61名
		こども教育福祉学科	34名
9月14日(水)	リハビリテーション学部	理学療法学科	39名
		作業療法学科	29名
		言語聴覚学科	25名
10月22日(土)	看護学部	看護学科	170名

プログラム

学科・学年別などによる説明会・懇談会

個別相談

※「説明会・懇談会」の形式は学部などにより異なります。

父母等保証人の皆様へお知らせ

満足度調査ご協力をお願い

満足度調査のご案内をお送りしています。大学・専門学校の改善・改革につなげるため、是非回答にご協力くださいますようお願いいたします。回答の締切は1月10日(火)です。率直なご意見をお寄せくださいますようお願い申し上げます。

2022年度卒業式・修了式は3月9日(木)に開催予定

「2022年度卒業式・修了式」は、アクティビティ浜松中ホールにて、2023年3月9日(木)に開催予定です。卒業年次生の父母等保証人の皆様には、別途ご案内いたします。



卒業式

